

落柿

障子紙を透かして
まぶたを閉じ

縁側に^{ひかり}陽光と居て

影も薄ぼんやりと
前髪の優しく
やまぶきいろの都に

(1984.11.10)

一首

縁側に懷手して斜めなる^{ひかり}陽光と言うにあまりに薄し

(1984.11.10)